

農業物価指数の平成27年（2015年）基準改定について

平成29年7月28日
農林水産省大臣官房統計部

1 農業物価統計調査の概要

農業物価統計調査は、農業における投入・産出の物価変動を測定するため、農業経営に直接関係のある物価を把握し、その結果を総合して農業物価指数を作成することを目的としています。

(1) 調査の種類

ア 農産物生産者価格調査

農産物生産者価格調査は、農産物価格指数を作成するために、農家が生産する農産物のうち販売金額が多い品目及び行政施策上重要な品目の価格を調査するものです。

イ 農業生産資材価格調査

農業生産資材価格調査は、農業生産資材価格指数を作成するために、農家が購入する農業生産に必要な資材のうち使用割合が高い品目及び行政施策上重要な品目の価格を調査するものです。

(2) 指数の算式

農産物価格指数及び農業生産資材価格指数の品目別価格指数及び総合（類別）価格指数は、ラスパイレス式の算式を用いて算出しています。

指数の算出手順は、農産物及び農業生産資材のそれぞれの品目別価格指数を算出し、その品目別価格指数を用いて総合（類別）価格指数を算出しています。

ア 品目別価格指数の算式

$$I_{t u i} = \frac{P_{t u i}}{P_{0 i}} \times 100$$

$I_{t u i}$: t年u月におけるi品目の価格指数

$P_{t u i}$: t年u月におけるi品目の価格

$P_{0 i}$: 基準時におけるi品目の価格（27年の年平均価格）

注： 品目の価格は次の方法により算出。

・農産物価格

①全国月平均価格：調査都道府県別の月平均価格に該当月の都道府県別出荷量によるウエイトを用いた加重平均により算出。

②全国年平均価格：全国月平均価格に全国の月別出荷量ウエイトを用いた加重平均により算出。

・農業生産資材価格

①全国月平均価格：調査都道府県別の月平均価格の単純平均により算出。

②全国年平均価格：全国月平均価格の単純平均により算出。

イ 総合（類別）価格指数の算式

$$I t u = \frac{\sum_i I t u i \cdot W u i}{\sum_i W u i}$$

$I t u$: t 年 u 月 における総合（類別）価格指数

$I t u i$: t 年 u 月 における i 品目の価格指数

$W u i$: u 月 の i 品目のウエイト

2 基準改定の趣旨

政府及び関係機関で作成する主要経済指標の一つである本指数の基準時については、他の経済指標と同様に、「指数の基準時に関する統計基準」（平成22年3月31日総務省告示第112号）に基づき5年ごとに改定を行っています。

今回の改定は、農産物の出荷動向や農業生産資材の使用状況をできる限りの確に指数に反映させるため、品目の追加・削除を行うなど所要の改正を行い、基準時及びウエイトを平成22年基準から平成27年基準へ改定しました。

3 基準改定の概要

(1) 指数採用品目の検証・見直し

今回の改定における農業物価指数に採用する品目については、農産物、農業生産資材それぞれについて、品目別価格指数の連続性を考慮し、前基準（平成22年基準）の指数採用品目を基本としつつ、農産物の出荷動向や農業生産資材の使用状況をできる限りの確に指数に反映させるため、品目の追加又は削除を行いました。

ア 農産物価格指数採用品目

指数採用品目を検討した結果、みずな・たけのこの2品目を追加し、平成27年基準に用いる指数採用品目数は、11分類、122品目となりました。【資料編の1】

イ 農業生産資材価格指数採用品目

指数採用品目を検討した結果、農業薬剤（6種類）を新たに採用し、農業薬剤（5種類）、建築資材（1種類）を削除し、平成27年基準に用いる指数採用品目数は12分類、141品目となりました。【資料編の2】

(2) ウェイトの改定

農産物価格指数及び農業生産資材価格指数の総合（類別）価格指数の算出に用いる類別及び品目別ウェイトについては、平成27年の農業経営統計調査経営形態別経営統計（個別経営）結果により作成しました。【資料編の3、4】

農産物価格指数：農業粗収益に占める指数採用品目の構成割合を使用
農業生産資材価格指数：農業経営費に占める指数採用品目の構成割合を使用

なお、経営形態別経営統計（個別経営）で把握できない品目については、農業産出額における品目別の産出額等を補完情報として類内の品目別構成割合を算出しました。

(3) 新・旧指数の接続

ア 月別価格指数

平成27年1月以降の農産物価格指数及び農業生産資材価格指数を新基準により遡及して価格指数を算出しました。

イ 新旧指数の接続

平成26年以前の結果との時系列比較が可能となるよう、農産物価格指数及び農業生産資材価格指数の総合（類別）価格指数についてリンク係数を求め新旧指数の接続を行いました。

(例) 平成22年基準指数を平成27年基準指数に接続する場合

$$\text{平成27年基準接続指数} = \text{平成22年基準指数} \div \text{リンク係数}$$

$$\text{リンク係数} = \text{平成22年基準の平成27年平均指数} \div 100$$

4 平成27年基準指数と平成22年基準指数の比較

農産物価格指数及び農業生産資材価格指数について、総合及び類別に新旧価格指数それぞれの対前年騰落率の比較を行いました。【資料編の5】

(1) 農産物価格指数

農産物価格指数は、総合で0.2ポイントの差、うちウェイトの大きな米、野菜、果実、畜産物は0.1～0.6ポイントと著しい差は見られない結果となりました。

(2) 農業生産資材価格指数

農業生産資材価格指数は、総合で0.1ポイントの差、うちウェイトの大きな肥料、飼料、光熱動力、農機具、賃借料及び料金は0.0～0.1ポイントと差が見られない結果となりました。

5 パーシェ・チェックの結果

農産物価格指数及び農業生産資材価格指数について、平成22年基準（旧基準）の平成27年の年次別価格指数を用いて、ラスパイレス式のウエイトの妥当性を検討する手段の1つとしてパーシェ・チェックを行いました。

結果は、以下のとおりです。【資料編の6】

ラスパイレス指数は、基準時点での価格と数量を調査して算出する指数であるため、基準時から時間が経つと経済構造（農家が生産した農産物の販売金額が多い品目割合や農家が購入する農業生産に必要な資材の使用割合）が変化して基準時のウエイトが実態から離れてしまう傾向があります。

また、パーシェ指数は、価格と数量を基準時だけではなく、毎時点の価格と数量を調査するため、数量の変化を適確に反映した指数を算出することができます。

(1) 農産物価格指数

農産物価格指数の乖離率は1.1%となり、著しい差が見られない結果となりました。

なお、平成27年基準の米や畜産物のウエイトが平成22年基準に比べ増加したのは、平成27年の米や畜産物の価格が上昇したことなどによるものです。

(2) 農業生産資材価格指数

農業生産資材価格指数の乖離率は1.0%となり、著しい差が見られない結果となりました。

なお、平成27年基準の畜産用動物や飼料のウエイトが平成22年基準に比べ増加したのは、平成27年の畜産用動物や飼料の価格が上昇したことなどによるものです。

農業物価指数の平成27年(2015年)基準改定結果

[資料編]

1	農産物価格指数 追加・削除品目	1頁
2	農業生産資材価格指数 追加・削除品目	2
3	農業物価指数 類別ウエイトの新旧対照表	3
4	新・旧指数の品目別ウエイトの対応表	4
5	平成27年基準指数と平成22年基準指数の比較	8
6	パーシェ・チェックの結果	9

平成 29 年 7 月

農 林 水 産 省 大 臣 官 房 統 計 部

1 農産物価格指数 追加・削除品目

(1) 追加・削除した品目

類 区 分	追 加	削 除
野菜	・みずな ・たけのこ	—

(2) 農産物価格指数採用品目数

類 区 分	22 年 基 準	27 年 基 準	増 減
米	4	4	0
麦	4	4	0
雑穀	1	1	0
豆	3	3	0
いも	5	5	0
野菜	37	39	2
果実	22	22	0
工芸農作物	8	8	0
花き	17	17	0
畜産物	18	18	0
稲わら	1	1	0
合 計	120	122	2

2 農業生産資材価格指数 追加・削除品目

(1) 追加・削除した品目

類 区 分	追 加	削 除
農業薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ・アセフェート粒剤 ・ホスチアゼート粒剤 ・エマメクチン安息香酸塩乳剤 ・フルアジナム水和剤 ・アゾキシストロビン水和剤 ・イマゾスルフロン・ピラクロニル・プロモブチド粒剤 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセフェート水和剤 ・アセタミプリド水溶剤 ・プロベナゾール粒剤 ・ピロキロン粒剤 ・シラフルオフェン・フェリムゾン・フサライト粉剤
建築資材	-	・塗料

(2) 農業生産資材価格指数採用品目数

類 区 分	22 年 基 準	27 年 基 準	増 減
種苗及び苗木	17	17	0
畜産用動物	11	11	0
肥料	16	16	0
飼料	13	13	0
農業薬剤	20	21	1
諸材料	9	9	0
光熱動力	7	7	0
農機具	21	21	0
自動車・同関係料金	4	4	0
建築資材	9	8	△ 1
農用被服	5	5	0
賃借料及び料金	9	9	0
合 計	141	141	0

3 農産物価指数 類別ウエイトの新旧対照表

(1) 農産物価格指数

単位：万分比

類 区 分	22年基準 (旧)	27年基準 (新)	27年基準-22年基準
農産物（総合）	10,000	10,000	
米	2,247	2,273	26
麦	90	81	△ 9
雑穀	11	14	3
豆	90	103	13
いも	259	213	△ 46
野菜	2,700	2,582	△ 118
果実	1,256	1,097	△ 159
工芸農作物	392	232	△ 160
花き	501	502	1
畜産物	2,449	2,900	451
稲わら	5	3	△ 2

(2) 農業生産資材価格指数

単位：万分比

類 区 分	22年基準 (旧)	27年基準 (新)	27年基準-22年基準
農業生産資材（総合）	10,000	10,000	
種苗及び苗木	525	530	5
畜産用動物	440	588	148
肥料	1,070	1,035	△ 35
飼料	1,701	1,925	224
農業薬剤	887	774	△ 113
諸材料	378	365	△ 13
光熱動力	928	912	△ 16
農機具	2,072	1,882	△ 190
自動車・同関係料金	578	530	△ 48
建築資材	392	375	△ 17
農用被服	32	28	△ 4
賃借料及び料金	997	1,056	59

4 平成27年基準と平成22年基準の品目別ウエイトの対応表

(1) 農産物価格指数採用品目

平成22年基準(旧指数)		平成27年基準(新指数)		差
類・品目名	ウエイト	類・品目名	ウエイト	
米	2,247	米	2,273	26
うるち玄米	2,069	うるち玄米	2,093	24
もち玄米	62	もち玄米	63	1
うるち白米	107	うるち白米	108	1
もち白米	9	もち白米	9	0
麦	90	麦	81	△ 9
小麦	66	小麦	59	△ 7
はだか麦	2	はだか麦	2	△ 0
六条大麦	4	六条大麦	3	△ 1
ビール麦(二条大麦)	18	ビール麦(二条大麦)	17	△ 1
雑穀(そば)	11	雑穀(そば)	14	3
豆	90	豆	103	13
大豆	47	大豆	62	△ 15
小豆	34	小豆	29	△ 5
らっかせい	9	らっかせい	12	△ 3
いも	259	いも	213	△ 46
かんしょ(食用)	75	かんしょ(食用)	71	△ 4
〃(加工用)	12	〃(加工用)	10	△ 2
ぼれいし(食用)	122	ぼれいし(食用)	98	△ 24
〃(加工用)	23	〃(加工用)	24	△ 1
〃(種子用)	27	〃(種子用)	10	△ 17
野菜	2,700	野菜	2,582	△ 118
果菜	1,169	果菜	1,126	△ 43
きゅうり	168	きゅうり	220	△ 52
なす	104	なす	124	△ 20
トマト	269	トマト	203	△ 66
かぼちゃ	55	かぼちゃ	45	△ 10
すいか	90	すいか	67	△ 23
いちご	223	いちご	224	△ 1
ピーマン	116	ピーマン	88	△ 28
メロン(アンデス)	14	メロン(アンデス)	19	△ 5
〃(温室)	58	〃(温室)	81	△ 23
スイートコーン	58	スイートコーン	43	△ 15
オクラ	14	オクラ	12	△ 2
葉茎菜	1,099	葉茎菜	1,083	△ 16
はくさい	69	はくさい	43	△ 26
キャベツ	104	キャベツ	136	△ 32
レタス	76	レタス	103	△ 27
ほうれんそう	58	ほうれんそう	45	△ 13
ねぎ	238	ねぎ	203	△ 35
たまねぎ	154	たまねぎ	136	△ 18
にら	67	にら	56	△ 11
しゅんぎく	32	しゅんぎく	27	△ 5
にんにく	20	にんにく	29	△ 9
ブロッコリー	78	ブロッコリー	81	△ 3
アスパラガス	58	アスパラガス	53	△ 5
みつば	20	みつば	15	△ 5
こまつな	64	こまつな	58	△ 6
チンゲンサイ	29	チンゲンサイ	21	△ 8
-	-	みずな	28	△ 28
-	-	たけのこ	17	△ 17
おおほ	32	おおほ	32	△ 0
根菜	316	根菜	265	△ 51
だいこん	81	だいこん	55	△ 26
にんじん	90	にんじん	74	△ 16
ごぼう	23	ごぼう	18	△ 5
さといも	38	さといも	45	△ 7
かぶ	12	かぶ	8	△ 4
やまのいも	40	やまのいも	36	△ 4
れんこん	17	れんこん	16	△ 1
しょうが	15	しょうが	13	△ 2
まめ科野菜	116	まめ科野菜	108	△ 8
さやえんどう	29	さやえんどう	27	△ 2
さやいんげん	38	さやいんげん	32	△ 6
えだまめ	49	えだまめ	49	△ 0
果実	1,256	果実	1,097	△ 159
りんご	249	りんご	263	△ 14
ふじ	169	ふじ	179	△ 10
つがる	32	つがる	34	△ 2
王林	23	王林	24	△ 1
ジョナゴールド	25	ジョナゴールド	26	△ 1

(1) 農産物価格指数採用品目 (続き)

平成22年基準(旧指数)		平成27年基準(新指数)		差
類・品目名	ウエイト	類・品目名	ウエイト	
みかん(普通温州)	130	みかん(普通温州)	102	△ 28
〃(豊生温州)	160	〃(豊生温州)	125	△ 35
なつみかん(甘なつ)	10	なつみかん(甘なつ)	7	△ 3
いよかん	16	いよかん	5	△ 11
日本なし(二十世紀)	27	日本なし(二十世紀)	24	△ 3
〃(豊水)	49	〃(豊水)	44	△ 5
〃(幸水)	80	〃(幸水)	73	△ 7
かき	80	かき	77	△ 3
ぶどう	196	ぶどう	146	△ 50
デラウェア	50	デラウェア	37	△ 13
巨峰	99	巨峰	74	△ 25
ピオーネ	47	ピオーネ	35	△ 12
もも	93	もも	86	△ 7
くり	15	くり	7	△ 8
うめ	38	うめ	24	△ 14
キウイフルーツ	16	キウイフルーツ	14	△ 2
おうとう	57	おうとう	43	△ 14
すもも	14	すもも	31	△ 17
しらぬい(デコボン)	26	しらぬい(デコボン)	26	0
工芸農作物	392	工芸農作物	232	△ 160
葉たばこ	91	葉たばこ	42	△ 49
てんさい	53	てんさい	48	△ 5
さしきび	53	さしきび	29	△ 24
茶(生葉)	118	茶(生葉)	61	△ 57
〃(荒茶)	54	〃(荒茶)	36	△ 18
こんにやくいも	15	こんにやくいも	11	△ 4
い(い草)	4	い(い草)	3	△ 1
〃(畳表)	4	〃(畳表)	2	△ 2
花き	501	花き	502	△ 1
切花	402	切花	435	△ 33
きく	179	きく	214	△ 35
ばら	48	ばら	48	0
カーネーション	35	カーネーション	32	△ 3
カズミソウ	9	カズミソウ	10	△ 1
りんどう	9	りんどう	10	△ 1
チューリップ	5	チューリップ	3	△ 2
ゆり	58	ゆり	54	△ 4
トルコギキョウ	25	トルコギキョウ	29	△ 4
スターチス	12	スターチス	13	△ 1
カーベラ	11	カーベラ	12	△ 1
洋らん	11	洋らん	10	△ 1
球根	18	球根	19	△ 1
チューリップ	10	チューリップ	11	△ 1
ゆり	4	ゆり	4	0
グラジオラス	4	グラジオラス	4	0
鉢物	81	鉢物	48	△ 33
洋らん	49	洋らん	26	△ 23
シクラメン	23	シクラメン	17	△ 6
プリムラ類	9	プリムラ類	5	△ 4
畜産物	2,449	畜産物	2,900	△ 451
鶏卵	118	鶏卵	139	△ 21
生乳	1,115	生乳	1,219	△ 104
肉畜	847	肉畜	1,014	△ 167
肉用牛(去勢肥育和牛)	94	肉用牛(去勢肥育和牛)	112	△ 18
〃(雌肥育和牛)	64	〃(雌肥育和牛)	77	△ 13
〃(乳雄肥育ホルスタイン種)	17	〃(乳雄肥育ホルスタイン種)	20	△ 3
〃(乳用肥育交雑種)	40	〃(乳用肥育交雑種)	48	△ 8
肉豚	386	肉豚	462	△ 76
ブロイラー	246	ブロイラー	295	△ 49
子畜	325	子畜	447	△ 122
ホルスタイン純粋種雌	29	ホルスタイン純粋種雌	40	△ 11
ホルスタイン種雄	10	ホルスタイン種雄	14	△ 4
交雑種	22	交雑種	30	△ 8
肥育用乳用雄(ホルスタイン種)	11	肥育用乳用雄(ホルスタイン種)	15	△ 4
肥育用乳用(交雑種)	25	肥育用乳用(交雑種)	34	△ 9
和子牛(雌)	84	和子牛(雌)	116	△ 32
〃(雄)	122	〃(雄)	168	△ 46
子豚	22	子豚	30	△ 8
成畜	44	成畜	81	△ 37
乳用成牛(雌)	11	乳用成牛(雌)	20	△ 9
肉用成牛(雌)	33	肉用成牛(雌)	61	△ 28
稲わら	5	稲わら	3	△ 2

注：農産物総合(類別)の年平均価格指数を算出するためのウエイトを比較したものである。

(2) 農業生産資材価格指数

平成22年基準(旧指数)		平成27年基準(新指数)		差
類・品目名	ウエイト	類・品目名	ウエイト	
種苗及び苗木	525	種苗及び苗木	530	5
種もみ	75	種もみ	78	3
きゅうり種子	16	きゅうり種子	16	0
すいか種子	13	すいか種子	13	0
メロン種子	41	メロン種子	41	0
結球はくさい種子	11	結球はくさい種子	11	0
キャベツ種子	14	キャベツ種子	14	0
ねぎ種子	17	ねぎ種子	17	0
たまねぎ種子	23	たまねぎ種子	23	0
だいこん種子	22	だいこん種子	22	0
にんじん種子	32	にんじん種子	32	0
種ばれいしょ	30	種ばれいしょ	30	0
飼料用とうもろこし種子	16	飼料用とうもろこし種子	16	0
水稲苗	58	水稲苗	59	1
きゅうり苗	26	きゅうり苗	26	0
なす苗	43	なす苗	43	0
トマト苗	57	トマト苗	58	1
温州みかん苗木	31	温州みかん苗木	31	0
畜産用動物	440	畜産用動物	588	148
初生びな(肉用専用種)	46	初生びな(肉用専用種)	61	15
大ひな(卵用鶏)	18	大ひな(卵用鶏)	24	6
子豚(肉用)	5	子豚(肉用)	7	2
〃(繁殖用雌)	11	〃(繁殖用雌)	15	4
乳用牛(子牛)	16	乳用牛(子牛)	21	5
〃(成牛)	47	〃(成牛)	63	16
肉用牛子牛(繁殖用)	40	肉用牛子牛(繁殖用)	53	13
〃(去勢)	209	〃(去勢)	280	71
〃(乳用肥育交雑種)	28	〃(乳用肥育交雑種)	37	9
〃(乳用交雑種)	15	〃(乳用交雑種)	20	5
肉用牛成牛(繁殖用)	5	肉用牛成牛(繁殖用)	7	2
肥料	1,070	肥料	1,035	△ 35
無機質	1,042	無機質	1,008	△ 34
硫酸	13	硫酸	13	0
石灰窒素	22	石灰窒素	21	△ 1
尿素	5	尿素	5	0
過りん酸石灰	7	過りん酸石灰	7	0
よう成りん肥	24	よう成りん肥	23	△ 1
重焼りん肥	14	重焼りん肥	14	0
複合肥料	880	複合肥料	850	△ 30
高度化成	426	高度化成	411	△ 15
普通化成	92	普通化成	89	△ 3
配合肥料	355	配合肥料	343	△ 12
固形肥料	7	固形肥料	7	0
消石灰	10	消石灰	10	0
炭酸カルシウム	15	炭酸カルシウム	15	0
けい酸石灰	32	けい酸石灰	31	△ 1
水酸化マグネシウム	20	水酸化マグネシウム	19	△ 1
有機質	28	有機質	27	△ 1
なたね油かす	11	なたね油かす	11	0
鶏ふん	17	鶏ふん	16	△ 1
飼料	1,701	飼料	1,925	224
圧べん大麦	49	圧べん大麦	55	6
一般ふすま	19	一般ふすま	22	3
ハイコーブ	22	ハイコーブ	25	3
脱脂粉乳	5	脱脂粉乳	6	1
大豆油かす	12	大豆油かす	14	2
ビートパルプ(外国産)	56	ビートパルプ(外国産)	63	7
とうもろこし	31	とうもろこし	35	4
配合飼料	1,507	配合飼料	1,705	198
成鶏用	151	成鶏用	171	△ 20
ブロイラー用(後期)	252	ブロイラー用(後期)	285	△ 33
幼豚育成用	99	幼豚育成用	112	△ 13
若豚育成用	250	若豚育成用	283	△ 33
乳用牛飼育用	427	乳用牛飼育用	483	△ 56
肉用牛肥育用	328	肉用牛肥育用	371	△ 43
農業薬剤	887	農業薬剤	774	△ 113
殺虫剤	315	殺虫剤	276	△ 39
殺菌剤	201	殺菌剤	175	△ 26
殺虫殺菌剤	83	殺虫殺菌剤	72	△ 11
除草剤	288	除草剤	251	△ 37

(2) 農業生産資材価格指数 (続き)

平成22年基準(旧指数)		平成27年基準(新指数)		差
類・品目名	ウエイト	類・品目名	ウエイト	
諸材料	378	諸材料	365	△ 13
農業用ビニール	49	農業用ビニール	47	△ 2
農業用ポリエチレン	26	農業用ポリエチレン	25	△ 1
袋掛用紙袋	14	袋掛用紙袋	14	0
穀物用紙袋	23	穀物用紙袋	22	△ 1
梱包用樹脂製品	33	梱包用樹脂製品	32	△ 1
野菜用段ボール	174	野菜用段ボール	167	△ 7
果实用段ボール	41	果实用段ボール	40	△ 1
稲わら	6	稲わら	6	0
ペーパーボット	12	ペーパーボット	12	0
光熱動力	928	光熱動力	912	△ 16
ガソリン	207	ガソリン	203	△ 4
灯油	84	灯油	83	△ 1
軽油	132	軽油	130	△ 2
重油	278	重油	272	△ 6
モバイル油	15	モバイル油	15	0
農用電力	190	農用電力	187	△ 3
水道料	22	水道料	22	0
農機具	2,072	農機具	1,882	△ 190
小農具	298	小農具	271	△ 27
くわ	34	くわ	31	△ 3
かま	42	かま	38	△ 4
人力噴霧機	160	人力噴霧機	146	△ 14
ホース	62	ホース	56	△ 6
大農具	1,774	大農具	1,611	△ 163
刈払機(草刈機)	12	刈払機(草刈機)	11	△ 1
動力田植機(4条植え)	172	動力田植機(4条植え)	156	△ 16
動力噴霧機	41	動力噴霧機	37	△ 4
動力耕うん機	66	動力耕うん機	60	△ 6
乗用型トラクタ(15PS)	159	乗用型トラクタ(15PS)	144	△ 15
〃 (25PS)	294	〃 (25PS)	267	△ 27
〃 (35PS)	144	〃 (35PS)	131	△ 13
トレーラー	5	トレーラー	5	0
自走式運搬車	12	自走式運搬車	11	△ 1
バンダ(2条刈り)	11	バンダ(2条刈り)	10	△ 1
コンバイン(2条刈り)	616	コンバイン(2条刈り)	560	△ 56
動力脱穀機	18	動力脱穀機	16	△ 2
動力もみすり機	39	動力もみすり機	35	△ 4
通風乾燥機(16石型)	117	通風乾燥機(16石型)	106	△ 11
温風式暖房機	20	温風式暖房機	18	△ 2
ロータリー	11	ロータリー	10	△ 1
パーソナルコンピューター	37	パーソナルコンピューター	34	△ 3
自動車・同関係料金	578	自動車・同関係料金	530	△ 48
軽四輪トラック	259	軽四輪トラック	237	△ 22
四輪トラック	53	四輪トラック	49	△ 4
ライトバン	24	ライトバン	22	△ 2
自動車定期点検料	242	自動車定期点検料	222	△ 20
建築資材	392	建築資材	375	△ 17
角材	134	角材	129	△ 5
板材	73	板材	71	△ 2
合板	41	合板	40	△ 1
トタン	20	トタン	19	△ 1
セメント	29	セメント	28	△ 1
アルミサッシ	52	アルミサッシ	50	△ 2
シャッター	29	シャッター	28	△ 1
硬質塩化ビニール管	10	硬質塩化ビニール管	10	0
塗料	4	-	-	△ 4
農用被服	32	農用被服	28	△ 4
作業着(上・下)	18	作業着(上・下)	14	△ 4
軍手	2	軍手	2	0
地下たび	3	地下たび	3	0
ゴム長ぐつ	6	ゴム長ぐつ	6	0
雨合羽	3	雨合羽	3	0
賃借料及び料金	997	賃借料及び料金	1,056	59
水稲耕起・代かき料金	36	水稲耕起・代かき料金	38	2
田植料金	35	田植料金	37	2
稲刈料金	133	稲刈料金	141	8
もみすり賃	65	もみすり賃	69	4
精白賃	16	精白賃	17	1
共同施設利用料(稲)	414	共同施設利用料(稲)	438	24
〃 (麦)	164	〃 (麦)	174	10
〃 (野菜)	73	〃 (野菜)	77	4
〃 (果実)	61	〃 (果実)	65	4

注：農業生産資材総合(類別)の年平均価格指数を算出するためのウエイトを比較したものである。

5 平成27年基準指数と平成22年基準指数の比較

(1) 農産物価格指数

表1 農産物(類別)の新・旧価格指数の対前年騰落率

	ウエイト		27年指数		28年指数		対前年騰落率(%)	
	旧基準	新基準	旧基準	新基準	旧基準	新基準	旧基準	新基準
農産物 (総合)	10000	10000	107.6	100.0	115.3	107.4	7.2	7.4
米	2247	2273	88.6	100.0	99.7	112.4	12.5	12.4
麦	90	81	68.1	100.0	66.4	97.2	△ 2.5	△ 2.8
雑穀	11	14	91.0	100.0	92.9	98.5	2.1	△ 1.5
豆	90	103	120.4	100.0	112.5	95.6	△ 6.6	△ 4.4
いも	259	213	105.8	100.0	111.6	108.8	5.5	8.8
野菜	2700	2582	110.4	100.0	118.9	107.8	7.7	7.8
果実	1256	1097	105.4	100.0	115.7	110.2	9.8	10.2
工芸農作物	392	232	98.2	100.0	97.3	98.5	△ 0.9	△ 1.5
花き	501	502	103.0	100.0	105.9	103.7	2.8	3.7
畜産物	2449	2900	126.8	100.0	132.9	104.2	4.8	4.2
稲わら	5	3	120.0	100.0	126.3	106.7	5.3	6.7

(2) 農業生産資材価格指数

表2 農業生産資材(類別)の新・旧価格指数の対前年騰落率

	ウエイト		27年指数		28年指数		対前年騰落率(%)	
	旧基準	新基準	旧基準	新基準	旧基準	新基準	旧基準	新基準
農業生産資材 (総合)	10000	10000	110.6	100.0	109.0	98.5	△ 1.4	△ 1.5
種苗及び苗木	525	530	109.4	100.0	110.1	100.6	0.6	0.6
畜産用動物	440	588	148.2	100.0	176.5	118.0	19.1	18.0
肥料	1070	1035	110.0	100.0	108.0	98.2	△ 1.8	△ 1.8
飼料	1701	1925	124.5	100.0	115.9	93.1	△ 6.9	△ 6.9
農業薬剤	887	774	102.5	100.0	102.4	100.0	△ 0.1	0.0
諸材料	378	365	104.7	100.0	104.7	100.0	0.0	0.0
光熱動力	928	912	107.4	100.0	93.0	86.5	△ 13.4	△ 13.5
農機具	2072	1882	102.1	100.0	102.3	100.2	0.2	0.2
自動車・同 関係料金	578	530	104.9	100.0	104.8	100.0	△ 0.1	0.0
建築資材	392	375	112.5	100.0	113.2	100.7	0.6	0.7
農用被服	32	28	111.2	100.0	113.7	102.2	2.2	2.2
貸借料及び 料金	997	1056	104.1	100.0	104.9	100.7	0.8	0.7

6 パーシェ・チェックの結果

平成27年の年次指数（平成22年基準）について、平成22年基準のウェイトを用いたラスパイレース指数と平成27年基準のウェイトを用いたパーシェ指数との乖離を検証するため、パーシェ・チェックを行った結果、乖離率は農産物価格指数（総合）で1.1%、農業生産資材価格指数（総合）で1.0%となった。

【農産物価格指数（総合）】

【農業生産資材価格指数（総合）】

	指 数		乖離率(%) $\left[\frac{P-L}{L} \times 100 \right]$	指 数		乖離率(%) $\left[\frac{P-L}{L} \times 100 \right]$
	ラスパイレース 指数 (L)	パーシェ 指数 (P)		ラスパイレース 指数 (L)	パーシェ 指数 (P)	
平成7年 (平2年基準)	95.7	96.2	0.5	100.1	101.1	1.0
平成12年 (平7年基準)	87.4	87.7	0.3	101.9	101.9	0.0
平成17年 (平12年基準)	99.7	99.9	0.2	102.7	103.3	0.6
平成22年 (平17年基準)	101.9	104.0	2.1	109.9	110.1	0.2
平成27年 (平22年基準)	107.6	108.8	1.1	110.6	111.7	1.0

【ラスパイレース式】

$$\text{ラスパイレース指数} = \frac{\Sigma (\text{今年の価格 (農産物、農業生産資材) } P_t \times \text{基準年の数量 (ウェイト) } Q_0) (\text{農業粗収益、農業支出})}{\Sigma (\text{基準年の価格 } P_0 \times \text{基準年の数量 (ウェイト) } Q_0)} \times 100$$

※基準年を100としたときの指数を求めるため、計算式に100を掛る。
 ※ここでは、わかりやすくするために、比較年を「今年」と表記。
 ※ Σ （シグマ）は、総和を表す記号。

(注) 基準時点での価格と数量を調査してしまえば、以後調査するのは価格だけですむため、簡便、速報性に優れる、低コストで作成できるといった利点があり、消費者物価指数を始め、多くの指数で採用されている。
 なお、数量の変化が反映されないため正確性に欠ける場合がある。

【パーシェ式】

$$\text{パーシェ指数} = \frac{\Sigma (\text{今年の価格 (農産物、農業生産資材) } P_t \times \text{今年の数量 (ウェイト) } Q_t) (\text{農業粗収益、農業支出})}{\Sigma (\text{基準年の価格 } P_0 \times \text{今年の数量 (ウェイト) } Q_t)} \times 100$$

(注) 数量の変化が反映されるが、価格、数量の両方を基準時だけでなく、毎時点でも調査しなければならないため、ラスパイレース式の利点が全て欠点となる。

(参考) 近年の基準改定時における集計方法等の主な変更点

改定年次	内 容
平成12年基準改定	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の総合及び類別の価格指数の算出に当たっては、月別の変動幅を緩和してしまうこととなっていた従来の「品目別月別ウエイト保合方式」による指数算出から、類のウエイトを固定し、類内の品目別月別ウエイトを出回り量によって変動させる「品目別月別ウエイト変動方式」に変更。 ・生活資材価格指数を廃止し、指数の概念を「農村における景気の動向と物価水準の変動を測定する物価指数」から「農業における投入・算出の物価変動を測定する物価指数」に改め、「農村物価指数」の名称を「農業物価指数」に改称。
平成17年基準改定	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産資材の「ガソリン」「灯油」「ホース」「パーソナルコンピューター」「塗料」の5品目について、消費者物価指数（総務省）の公表値を使用。
平成22年基準改定	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産資材の農業薬剤（6種類）、農機具の「乗用型トラクター25馬力」を新たに採用し、農業薬剤（2種類）を削除。
平成27年基準改定	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の「みずな」、「たけのこ」（2品目）を新たに採用。 ・農業生産資材の農業薬剤（6種類）を新たに採用し、農業薬剤（5種類）を削除。 ・農業生産資材の品目のうち、消費者物価指数の公表値を利用していた「ホース」は農業物価統計調査において指数を作成することとし、「塗料」は削除。

お問合せ先

大臣官房統計部 経営・構造統計課 分析班
 担当：天野、長江、中本
 電話：03－6744－2042